

かん さい こう いき れん ごう 関西広域連合とは？



11の府・県・市で活動。エリア内では
お米、野菜、果物、肉、魚など
たくさんの食べ物が作られています。

「まず地元産、なければエリア内産」をモットーに、約2,000万人の消費者に対して、エリア内での地産地消活動を進めています。

平成30年からの新しい取り組み
「モデル校の学校給食へ特産物を提供」

とっとり けん
鳥取県
わかさ がくえん
@若桜学園

せんしゅう この や きょう きゅうしよく
泉州キャベツのお好み焼き(今日の給食！)
※授業は5年生クラスで実施

キャベツ ↑ ↓ らっきょう

おお さか ふ
大阪府

あまず づ いっしょ
らっきょう甘酢漬(カレーライスと一緒に)
※3つのモデル学校に1620人分を提供



ほか しよくざい ていきよう あ
～他にはこんな食材を提供し合っています～

きょうと し し が けん こめ
京都市 ← 滋賀県(お米)
し が けん きょうと ふ しやう こ いん
滋賀県 ← 京都府(聖護院だいこんのおでん)
わ か やま けん とく しま けん きんとき てん
和歌山県 ← 徳島県(なると金時の天ぷら)

せんしゅう

泉州キャベツを食べよう！

おおさかふ こうほう たんとう ふくちじ

大阪府広報担当副知事 もずやん



おおさか のうぎょう とくちよう

～大阪農業の特徴～

大阪では、すぐれた栽培方法がたくさん開発され、キャベツや玉ねぎなど、食卓には欠かせない農作物が、泉州地域を中心に栽培されてきました。

また、大阪は農地と都市が近く、農作物を収穫してからお店に届くまでの時間が短いことから、いたみやすい野菜や果物など、新鮮さが求められる農作物も多く栽培されています。

さんち

～大阪の産地～

- ①北部地域：米の栽培がさかん。栗、赤じそなどが有名。
- ②中部地域：葉もの野菜、えだまめ、ぶどうなどの栽培がさかん。
- ③南河内地域：なすやきゅうり、ぶどうなどの栽培がさかん。
- ④泉州地域：キャベツ、玉ねぎ、水なす、葉もの野菜などの栽培がさかんで、大阪府で最も農地の面積が広い。



／ お好み焼きにぴったり！甘くておいしい泉州キャベツ ／

れきし

～泉州キャベツの歴史～

キャベツは日本に約800年前に入り、泉州キャベツが栽培されている泉州地域には、明治時代の終わりに伝えられたと言われています。大正時代の中ごろからたくさん栽培されるようになり、大阪府を代表する野菜の1つとなりました。



ひんしゅ

～泉州キャベツの品種～

主力品種は、12月のはじめから収穫される「松波」で、寒くなると、甘くておいしくなるのが特徴です（甘いものでは糖度が果物並みになることも！）。熱を加えることでさらに甘くなるため、お好み焼きにもぴったりの品種です。

その他にも、「冬藍」「彩音」「春波」など、10月下旬から5月頃にかけて様々な品種が栽培されています。



えいよう

～キャベツの栄養～

ビタミン類や食物せんいをたくさん含む、栄養たっぷりの野菜です。特に、ビタミンCが多く、胃腸のはたらきをよくしたり、お肌の調子もととのえます。

